

祝  
卒業

### 第2回 能勢分校卒業式を開催しました



令和4年2月25日(金)大阪府立豊中高等学校能勢分校第2回卒業式が執り行われました。寒さ厳しい中でしたがお天気に恵まれ、元気いっぱい、分校2期生29名が卒業しました。

2年新学期早々、コロナの緊急事態宣言による長期の休校となり、その後も学校生活に様々な制限がありました。そんな中でも3年時には、北陸方面に修学旅行に行くことができました。また、3年の課題探究を通じて、これまで以上に能勢地域の方々と積極的に関わってきました。准校長から卒業生へ、「学び続けることが、きっとさらなる道を切り拓くことにもつながります。明日から新たな道を歩み皆さんには、ぜひ時代の流れを追い風ととらえ、変化の激しい社会においても、活躍し続ける存在になることを心から願っています」と、はなむけの言葉が送られました。

明日が今日より輝かしい日々になりますように、皆さんの益々のご活躍を期待しています。卒業生の皆さん、おめでとうございます！



### 2年生 修学旅行に行きました！！

1月23日(日)~25日(火)、2泊3日の旅程で2年生が東京方面へ修学旅行に行きました。留学生のパーヴィーさん、12月末まで能勢分校に在籍していたラットナーさんも今いる埼玉から毎日合流し参加しました。

1日目は新幹線で東京へ。ホテルに荷物を預け電車を乗り継ぎ東京を巡りました。2日目は終日東京ディズニーシーでディズニーリゾート独特のホスピタリティを感じ、エンターテインメントを満喫しました。そして3日目、修学旅行の最大の目的地である霞が関の環境省を訪ねました。環境省で水・環境課長川又さんより環境省の役割、地球温暖化の講義を受け、脱炭素社会実現に向けてのディスカッションを行いました。地球温暖化を自分ごととして捉え、議論することの重要性を学ぶ大きな機会となりました。その後、東京駅八重洲口周辺で昼食を取り、新幹線で帰阪しました。様々な体験のあった充実した修学旅行でした。

- 1日目：新大阪駅→東京駅→スカイツリー  
→浅草寺(雷門)→夜の東京タワー
- 2日目：ディズニーシー
- 3日目：皇居(二重橋、桜田門)→霞が関 環境省  
→東京駅→新大阪駅



# 令和3年度 GS課題探究講座

## 3年GS課題探究基礎講座（総合的な探究の時間）

➤ 1月24日(月) 講師：高江直哉氏（能勢町地域おこし協力隊） テーマ：「貿易ゲーム」  
 クラスを6班(6国)に分け、各国が不平等に配分された「資源」「技術」をもとに他国と交渉し自国に富を集めるゲームを行いました。世界が平等に助け合って暮らすことの難しさ、既定の不平等が存在することを認識できました。



高江直哉氏

➤ 1月28日(金) 講師：高江直哉氏（能勢町地域おこし協力隊）  
 テーマ：「グローバルに考える“能勢町地域おこし協力隊に入るまで”」

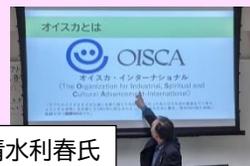


高江直哉氏

高江氏はオーストラリアで日本語教員、ブラジルでJICA日系社会青年ボランティアとして野球を普及。それらの経験から日本の過疎地域における課題解決に取り組むようになったことのお話でした。

## 2年GS課題探究重点講座（プレ課題探究GS）

➤ 11月26日(金) 講師：清水利春氏（オイスカ関西研修センター所長）  
 テーマ：「オイスカに学び能勢に活かす」



清水利春氏

オイスカ関西研修センターは豊能町にあり、海外からの技能実習生が来日し、農業技術などを学んでいます。今回はフィリピンでの農村支援を中心にオイスカの活動をお話いただきました。

➤ 1月21日(金) 講師：坂井信夫氏（坂井建築事務所） テーマ：「古民家再生」



坂井建築事務所

坂井建築事務所を訪問し、事務所で出た端材を用いてコースター、ペン立て、カード入れなど木材加工を行いました。また、移築した古民家を案内していただきました。

➤ 1月25日(火) 講師：川又孝太郎氏（環境省） テーマ：「環境省の役割、地球温暖化」



川又孝太郎氏

修学旅行3日目に訪れた環境省にて、環境庁から環境省への歴史と、環境省の政策、役割、環境問題での対策など、様々なお話がありました。その後は、脱炭素社会実現に向けて再エネから原発まで日本の方向性から世界情勢まで、ディスカッションを行いました。地球温暖化を自分ごととして捉え、議論することの重要性を学びました。

➤ 2月16日(水) 学習発表会

- 2年学習発表会 【地域】次世代に環境保全意識をつなげるために  
 【対人】聴覚障害者とのコミュニケーション  
 【食農】ブドウの温室づくりに関して  
 【探究】祭りによる地域の活性化  
 【プレ】古民家を利用して定住人口を増やそう

## 1年GS課題探究基礎講座（産業社会と人間）

### 「各班インタビュー」

- 川又 孝太郎氏（環境省）「再生可能エネルギーについて」  
 神出 計氏（大阪大学教授）「健康寿命について」  
 廣畑 徹氏（元麻薬取締官）「薬物乱用防止について」  
 斎藤 和子氏（エスペロ能勢）「フェアトレードについて」  
 榎原 友樹氏（株能勢・豊能まちづくり）「能勢・豊能まちづくりについて」  
 チーさん（元能勢分校留学生）「マレーシアについて」(SNS)

- 1年学習発表会 『再生可能エネルギー現状  
 ～川又孝太郎さんに聴いてみた～』  
 『能勢いきいき体操 その必要性について』  
 『電力で考える循環するまちづくり』  
 『マレーシア』（文化と環境問題）  
 『マトリ班の発表』（麻取りの活動）  
 『フェアトレード』（仕組みと世界貢献）

➤ 2月15日(火) 学習発表会

## 今年度のGS課題探究講座等でお世話になった方々～Special Thanks!!～（敬称略 順不同）

大阪府立大学伊井直比呂教授、大阪大学神出計教授、東京大学北村友人教授、環境省 豊中市社会福祉協議会  
 関西福祉科学大学、能勢町総務課、能勢町地域振興課、能勢町福祉課、能勢町教育委員会、ささゆり学園 能勢町観光協会、  
 能勢町各種事業所（能勢町冒険の森、道の駅のせ、秋鹿酒造、能勢酒造）、能勢・豊能まちづくり、浄瑠璃シアター  
 大阪自然史センター、大阪みどりのトラスト協会、一庫公園、旭ファーム、須美ファーム、道の駅のせ、みちくさ、  
 エスペロ能勢、坂井建築事務所、自転車-YA、HONDA自動車、栗技塾西田、能勢里山創造館、三恵園、檸檬新報社  
 箕面こどもの森学園、オイスカ、元麻薬取締官、落語家、獺友会、こもれび、能勢町地域世話人の方々、  
 各所デイサービス、留学生チーさん、オヨンさん、パーヴィーさん、ラットナー宙希さん  
 他にも、能勢町地域おこし協力隊、能勢高校卒業生、道の駅に立ち寄ったお客様など、課題探究における調査、インタビュー、アンケートなど多くの地域の方々にご協力いただきました。改めまして御礼申し上げます。

## 農業関連の機材を寄贈いただきました



本校の農場に、JA共済より農業関連機材の寄贈をいただき、3月1日に贈呈式を行いました。  
 JA共済は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組んでおり、この度、新たな農業技術の導入を推進し、最新の農業機械などの提供により未来の農業者となる生徒たちの実習内容を高め、新規就農者、農業生産の拡大、環境保全を目的に、本校にハチミツ溶解装置、コメの選別機、農業用ドローンなど農業関連機材を寄贈いただきました。より一層の教育の充実に使用していきます。

# 地域協働推進事業（グローバル型）の对外発表活動

## ◆ SGHネットワーク発表会

全国のグローバル型地域協働推進校、事業特例校、アソシエイト校37校が参加しました。オールイングリッシュで展開されるオンラインディスカッションでした。ドイツからの留学生のラットナーさんも参加しました。

## ◆ 全国ユース環境活動発表大会（環境省などが主催）

チームSATOYAMAが参加しました。テーマは地域課題を魅力に変える「能勢モデル」を考える。銀寄栗の農園や菊炭の里などでフィールドワークを行い、持続可能な能勢の環境保全を考え発表しました。大阪府の予選は通過し、近畿大会で「審査委員特別賞」を受賞しました。

## ◆ 全国高等学校グローバル探究オンライン発表会(Glocal High School Meetings 2022)（文科省主催）

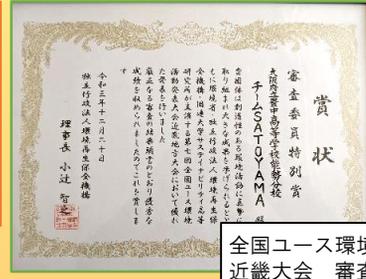
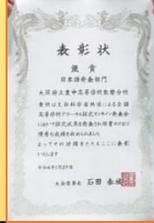
全国のグローバル型地域協働推進校、事業特例校、アソシエイト校37校が参加しました。英語発表部門、日本語発表部門で「能勢分校生は能勢町版シュタットベルケとの協働実践の研究《人口減少全国ワースト24位の町と分校の雇用創造への挑戦》」、「ゼロカーボンタウン能勢町」をテーマに発表しました。結果、日本語発表では銀賞を、英語発表では銅賞を受賞しました。

## ◆ 全国グローバルリーダーズサミット

チームSATOYAMAが参加しました。今年度の里山留学プログラムの集大成として「能勢モデル」を全国の高校生に向けて発表しました。発表後他校の生徒たちとディスカッションを行い、多様な取組みと考え方に刺激を受けました。



全国高等学校グローバル探究オンライン発表会  
日本語発表部門銀賞・英語発表部門銅賞



全国ユース環境活動発表大会  
近畿大会 審査委員特別賞



## 川西阪急にて販売実習 ～食農流通コース～



2月19日(土)、川西阪急催場にて『Love Local, Act Locally!!～大好きなこの街の未来に貢献したい～』のテーマのもと、地域産業系列「食農流通」コース選択生徒が店頭立ち、「べじたぶるぱーく」と能勢分校のコラボ商品である果実ジャムなどの販売実習を行いました。他にも能勢町ゆかりの様々なお店が出店され、能勢や近隣地域の魅力を存分に楽しんでいただける企画に参加し、生徒たちも貴重な経験をすることができました。

## 分校生主催卓球イベント 第2回『翔晋杯』が開催



昨年度初めて開催した、卓球部主催の「翔晋杯」(中学生対象の卓球大会)の第2回を、11月3日(水)に行いました。今年も卓球部が主催、(株)VICTAS様に協賛いただきました。

能勢中学生も多数大会に参加し、卓球を通じた交流を図ることができました。この模様は日刊スポーツの取材を受け、記事になりました。

## 地域魅力化クラブの活動 ～E-bikeプロジェクト～



E-bikeプロジェクトとは今年度から東京大学等との共同研究の「中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定」の取組みのことで、10月には10台のE-bikeを選定、それぞれに計測用の機器を取り付け、生徒たちが通学に使用するなど、実用実験が始まっています。1月には自転車-YAさん、3月にはHONDA鈴鹿による交通安全講習会を実施しました。



## チームSATOYAMAの活動 ～里山留学プログラム～



能勢町で下宿し、そこから能勢分校へ通学する生徒3名、自宅通学生2名による『チームSATOYAMA』の活動する里山留学プログラムは今年度22回を数えました。活動のまとめを「全国ユース環境活動発表会」や「全国グローバルリーダーズサミット」にて発表し、チームの取組みを広く紹介することができました。全国の高校生たちへ向けて地域課題を



魅力化する「能勢モデル」を発表し、他校の取組みを聞き、意見交換を行いました。来年度は新たな里山留学学生を迎えます。彼らのさらなる活躍を期待したいところです。



能勢小学生と

カンボジア留学生のパーヴィーさんが能勢小学校を訪れ、3月3日(木)と3月11日(金)に小3～6年の英語活動に参加しました。まず、グループに分かれて自己紹介、サイコロトークで皆の緊張がほぐれました。次にパーヴィーさんが英語でカンボジアについての発表をしました。初めて見るカンボジアの美しい海に歓声が上がったり、辛そうな料理に「食べてみたい!」の声が上がりました。最後はミニ・クメール語(カンボジアの母国語)講座があり、絵文字のような難しい文字に驚いていました。質問タイムでは時間が足りないほど小学生から手が上がりました。あっという間でしたがとても充実した異文化交流の時間となりました。



## さようなら、オヨンさん、パーヴィーさん!

パーヴィーさんは昨年10月から約半年間、猪名川町のホストファミリー宅から能勢分校へ通い、2年生と共に授業を受けました。コロナウィルス感染症対策のため予定より約2カ月短い留学期間となりましたが、文化祭やクラブ活動、特に茶道部を楽しんでいました。また、1月には東京への修学旅行に参加し、日本での貴重な体験にとっても喜んでいました。日本でのこと、能勢分校のこと、忘れないでね。いつかまた会える日まで!

こんにちは、みんなさん。パーヴィーです。カンボジアから来ました。毎日楽しいことと友達としゃべることが好きです。文化祭ははじめてで、本当にうれしかったです。書道と茶道とびじゅつが好きです。毎週、しましたとても良かったです。修学旅行もすごく楽しかったです。東京での東京スカイツリーと東京タワーとおきくと東京ディズニーランドに行きました。忘れられないいい修学旅行です。のせ高生と先生たちと友達、みんな本当にやさしいです。たまけてくれてありがとうございます。カンボジアに帰っても、ここにすごしたことを忘れません。みんな、おげんきです。パーヴィーより



Hello, everyone. I hope you're having a good day. My name is Ayon. I am 16 years old. I am from Bangladesh. I came to Japan to learn about the Japanese culture and their way of life. I am grateful to have the opportunity to study in Nose Branch of Toyonaka High School. School life here is very interesting and different from mine. I learned a lot of new things and it was very fun. Everyone in Nose is very kind and helpful. I made a few friends and new memories here. It was quite the experience and I am thankful to everyone who helped me have a good time in Nose. オヨンより



バングラディッシュからの留学生、オヨンさんは昨年10月より、能勢分校生の2年生と共に学びました。オヨンさんのお父さんは能勢小学校のALTのマハブブル先生です。来日目的は脚の手術を受けることでしたが、能勢分校に通学し、授業でバングラディッシュについて紹介をしたり、書道の授業で書いた作品を文化祭に出展しました。今まで料理はしなかったのですが、お弁当を毎日自分で作り、料理の腕がとても上達したとか!手術も無事に成功したようで良かったです。また家族のいる日本に来た時に能勢で会えるといいですね。

私は能勢分校で自分の国とは異なる文化や生活様式を学ぶことができ、とても興味深かったです。能勢のみなさんはとてもやさしくしてくれました。新しい友達もでき、思い出を作ることができたのは良い経験となりました。能勢で楽しい時間を過ごせるように助けてくれたみなさんに感謝します。オヨン

## 大城小春さんからのお便り From イタリア



～昨年9月からイタリアへ長期留学している、分校1年生の大城小春さんからメッセージが届いています～

1月5～8日までの4日間、Livigno というイタリア最北端の街に私の家族と友達の家族、総勢10人で行きました。マイナス20度の中、スキーにスケートに沢山貴重な時間を過ごしました。そして初めて見るアルプス山脈はとても綺麗でイタリアに来てから1番の思い出になりました。

右の写真はヨーロッパの中でも大きい王宮の一つ、モンツァ王宮に行った時のものです。何度か前を通っていましたが中には初めて入りました。一つ一つの彫刻や壁紙がとても美しく、イタリアの芸術を肌で感じる事ができました。



ほかにも、コモ湖やウォルトディズニーの美術館、支部の旅行に参加したりと毎日充実しています。

予定では、半年でホストファミリーを変更するはずでしたが、ラッキーなことに今のファミリーと引き続き過ごすこととなりとてもうれしいです。

